

地区新人大会を振り返る

清流大川

羽地中学校
学校だより 174号
せいりゅうおおかわ
H31.2.6



1月26日・27日は地区新人バスケットボール大会が東村宮体育館でありました。

1試合目は東中とのゲームでした。第1クォーターはみんな足が動かず、声もあまり出ていませんでしたが、第2クォーターからは徐々に感覚を取り戻して、DFの声かけやパスランなどのプレーが増えたので得点を離すことができました。

2試合目は大宜味中でした。大宜味とは秋季大会で対戦しましたが、点差があまりなかったの少し不安でしたが、調子と雰囲気は上がっていたので、ミスしても声を掛け合いました。盛り上げていくことができました。30点差で勝つことができました。

翌日の準決勝の相手は名護中でした。名護中とは1年生大会の時に点を詰めることができず、今回の大会では、勝つ気持ちで試合をしました。

前半は18点差でリードされていたが、後半では追いつき、気の抜けない16分間でしめた。結果として、48対46の1ゴール差で悔しい結果となりました。

3位決定戦の上本部中との対戦で私は、練習試合での課題を解決できず、自分のプレーを発揮することができませんでした。ですが、チームは頑張って勝つことができました。

今大会では、チームが成長していると感じることができました。具体的には、1対1のプレーを積極的に進めることができたということですね。また、32分間のきつい練習に踏ん張ることができたことです。

私はキャプテンとしてチームをまとめる役割は、2年生だけでなく、1年生にも一人一人が練習に正対する姿勢を持ち続けることだと考えます。そのことをキャプテンとして、チームに伝えていきたいと思っています。チームの強化につながっていくと信じます。

女子バスケットボール部
キャプテン S・S



銀行の職場体験を振り返る

S・Y

今回の職場体験で、沖縄銀行に行きました。銀行には興味がなく、他の職場より楽しくなさそうでしたので、行きたくはありませんでした。

銀行では、まず点検をしました。出入り口やATMの画面が汚れていないか、記帳台の上に置かれているペンやインクが切れていないか、老眼鏡のレンズが汚れていないか、などを点検しました。汚れていたりすると、お客様が嫌な気持ちになったり、こんな銀行にお金を預けて大丈夫なのかと不安になったりするのだから、点検は大切だと思います。

職場体験

分かりました。

簡単な仕事だと考えていましたが、やってみると、とても大変な仕事でした。

お金の貸し借りの厳しさも知ることができました。計画を立てて銀行を利用すべきだと思えました。銀行での職場体験は、良い経験になりました。

次にあいさつの練習と実践をしました。あいさつを思ったことはあいさつをすることで、居心地の良い空間をつくり、お客様が快適な環境で、安心して銀行を利用することができるところです。普段からあいさつをするようにしたいです。

4日目は、2階にあるロインステーションに行きました。ロインステーションとは、お金を借りきたお客様が、借りたお金を返済できるか審査するところです。

今回の職場体験でいろいろな事を学びました。銀行では、どんな仕事があるか

